

各 位

会社名 日本 B S 放送株式会社
代表者名 代表取締役社長 目時 剛
(コード番号 9414 東証第二部)
問合せ先 取締役経営企画局長 内田 克幸
(TEL 03 - 3518 - 1900)

平成 26 年 8 月期 決算補足説明資料に関するお知らせ

当社は、本日（平成 26 年 10 月 8 日付）公表いたしました「平成 26 年 8 月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」につきまして、決算補足説明資料を添付のとおりお知らせいたします。

また、本資料につきまして、下記WEBサイト（視聴先URL）にて動画・音声情報を配信しておりますので、併せてご視聴ください。

今後も当社は、積極的なIR活動を行い、株主及び投資家の皆様、その他ステークホルダーの皆様に、当社事業の特徴や事業の概況等についてのご理解をより深めていただく機会を設け、企業価値の向上へと繋げてまいります。

記

1. 決算補足説明資料の概要

- 【内 容】
- I 事業内容
 - II 業界環境
 - III 決算概況
 - IV 成長戦略
 - V 株主還元

2. 決算補足説明資料の動画視聴先URLのご案内

【動画配信日時】 平成 26 年 10 月 8 日（水）～平成 27 年 4 月 7 日（火）

【スピーカー】 日本BS放送株式会社 代表取締役社長 目時 剛

【視聴先URL】 <http://webcast.net-ir.ne.jp/94141410/index.html>

(日本BS放送株式会社 IR情報サイト <http://corp.bs11.jp/ir/Top.html>)

以 上

日本BS放送株式会社

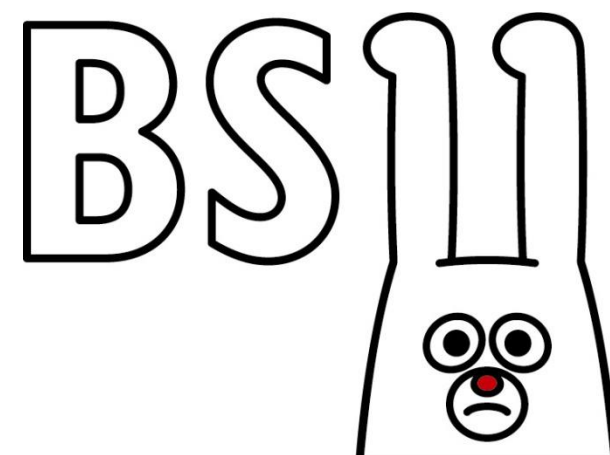
～ 全国無料テレビBS11 ～

2014年10月8日

BS11

I	事業内容	・・・	2
II	業界環境	・・・	6
III	決算概況	・・・	9
IV	成長戦略	・・・	16
V	株主還元	・・・	20

I 事業内容



経営理念・経営方針

経営理念 “心に響くBS11”

放送の公共的使命と社会的責任を深く認識し、『ゆったり』見られる上質な教養・娯楽番組と『じっくり』掘り下げる報道・情報番組を発信することにより、視聴者の皆様に『価値ある時間』を提供します。

会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台2-5
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”チャンネルの運営
代表者	代表取締役社長 目時 剛
設立	1999年8月
資本金	4,183,198千円(2014年8月31日現在)
従業員数	73名(2014年8月31日現在)

全国どこでも無料で見られるBS放送局の運営

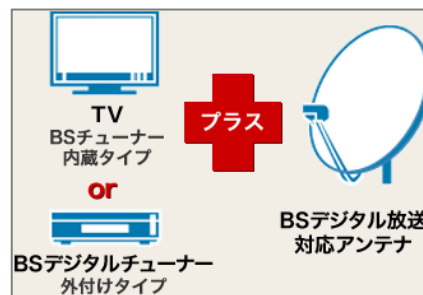
BS放送のチャンネル(全国)

無料/有料	有料		無料					有料					無料		
チャンネル	101	103	141	151	161	171	181	191	192	193	200	201	202	211	222
リモコン	1	2	4	5	6	7	8	9	9	9	10	10	10	11	12
放送局名	(NHK BS1)	(NHK BSプレミアム)	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BS JAPAN	BSフジ	WOWOWプライム	WOWOWライブ	WOWOWシネマ	スターチャンネル1	スターチャンネル2	スターチャンネル3	当社 BS11	Twelve

地上波放送のチャンネル(関東)

チャンネル	1	2	4	5	6	7	8
リモコン	1	2	4	5	6	7	8
放送局名	NHK総合	NHK Eテレ	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ

BS11の視聴に必要なもの



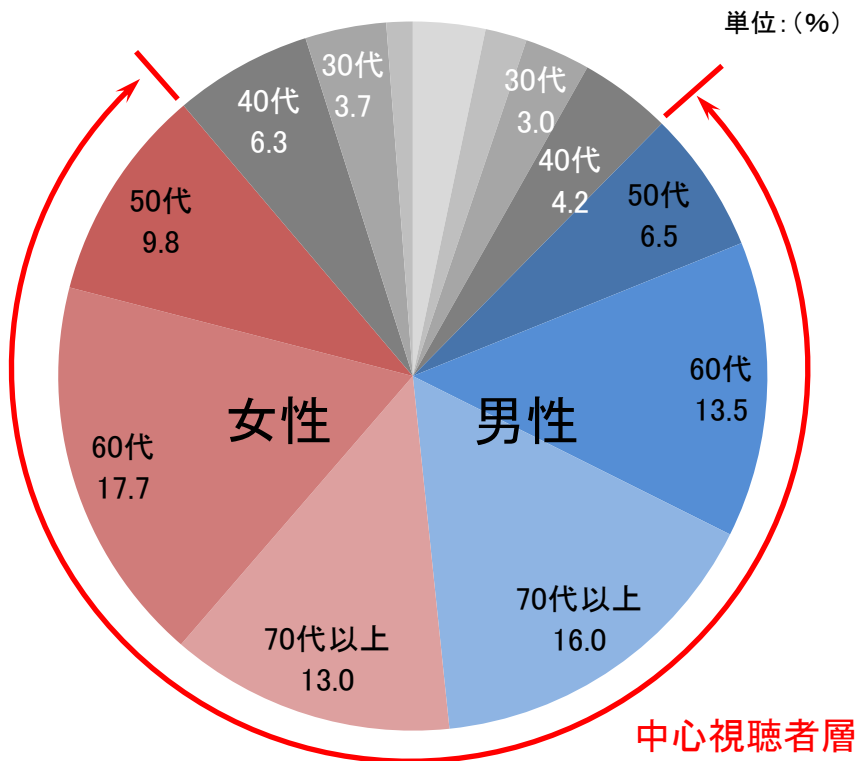
または ケーブルテレビ加入

CATV

中心視聴者層の知的好奇心を満たす自社制作番組のラインナップ

『ゆったり』見られる上質な教養・娯楽番組と『じっくり』掘り下げる報道・情報番組

民放BSよく見る層の性年齢構成

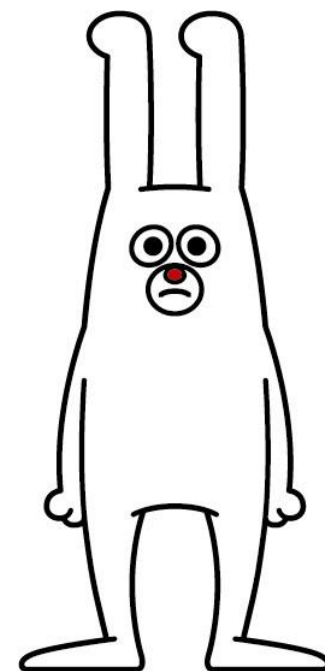


(出所)「BSデジタル放送メディアパワーガイド」

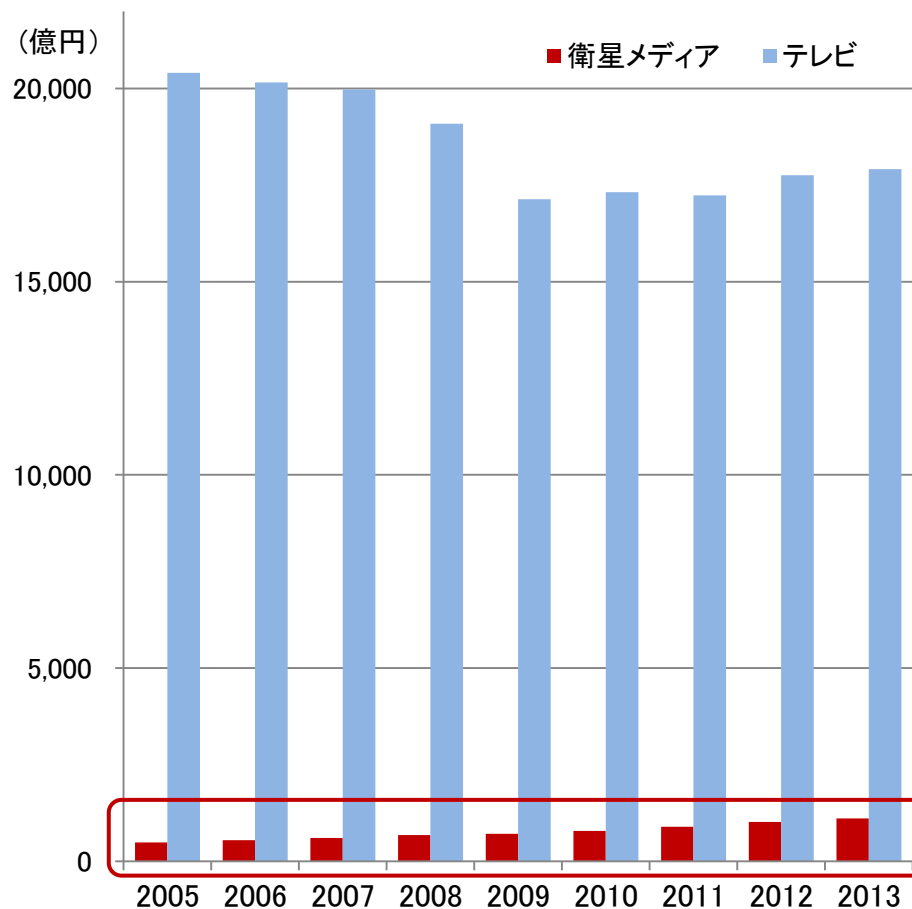
文化・教養、紀行物を中心としたシニア層向け番組の充実



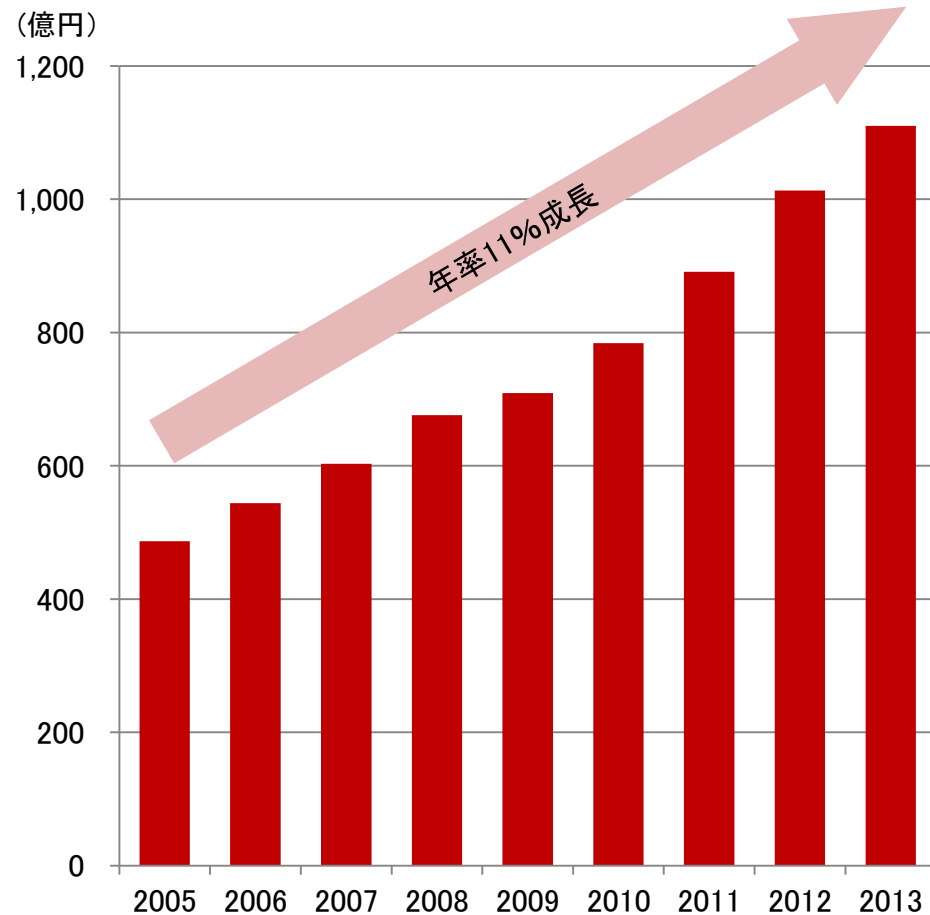
Ⅱ 業界環境



媒体別広告費



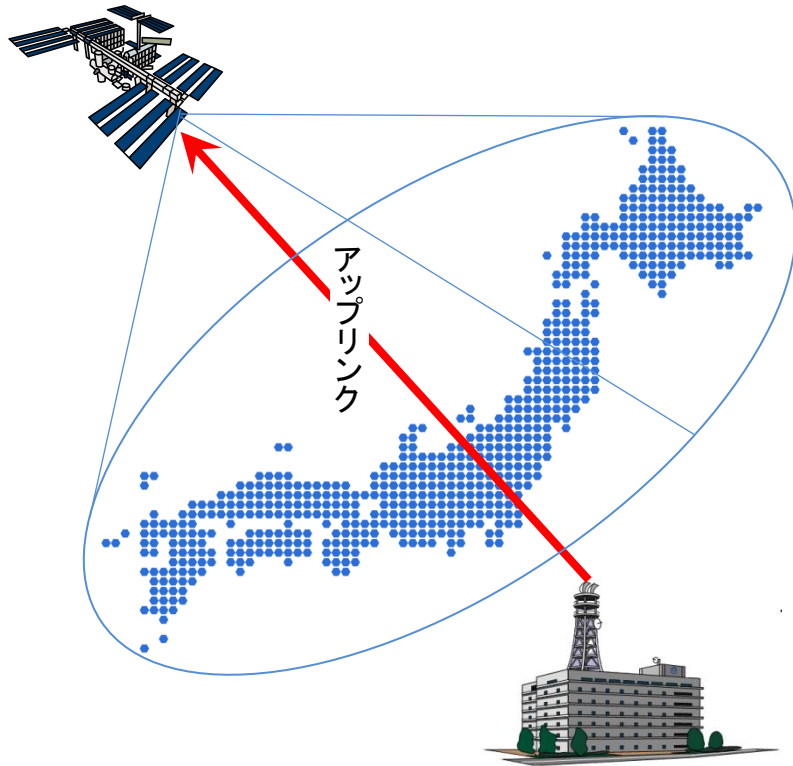
衛星メディア広告費



(出所) 電通「日本の広告費」※ 衛星メディアにはBS放送、CS放送、ケーブルテレビが含まれる

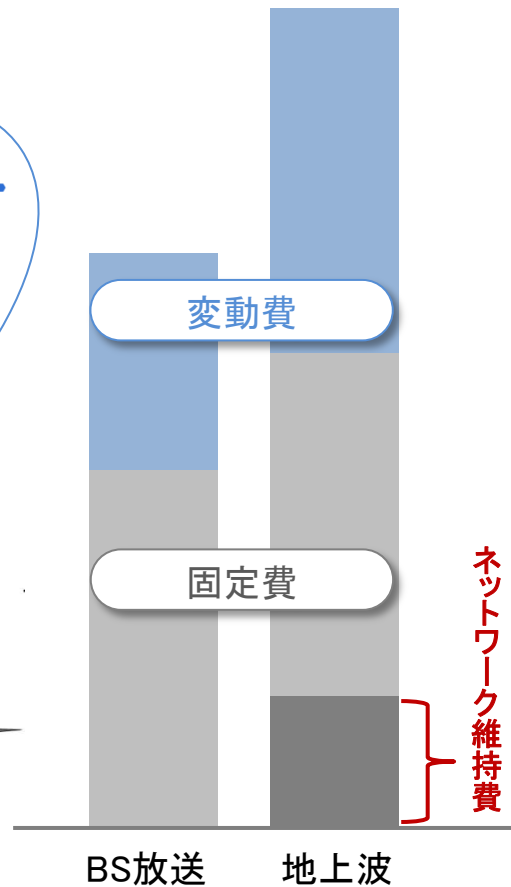
◆地上波に比べ低コストでの放送 ⇒ 割安な広告費で日本全国に放送可能

無料BS放送



- ・日本全国に電波の送信が可能
- ・ネットワークの構築が不要

コスト構造の比較

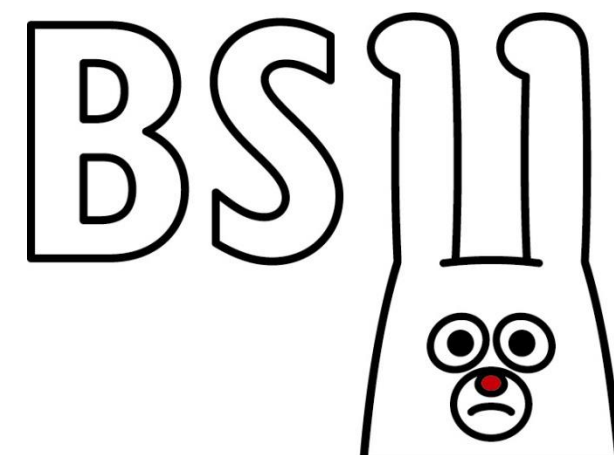


キー局系列の地上波放送



- ・少数チャンネル地域の存在
- ・嵩むネットワーク維持費

Ⅲ 決算概況



2014年8月期 総括

売上高	7,869百万円	(前期比 12.2%増) (計画比 0.9%増)
営業利益	1,692百万円	(前期比 24.2%増) (計画比 9.2%増)

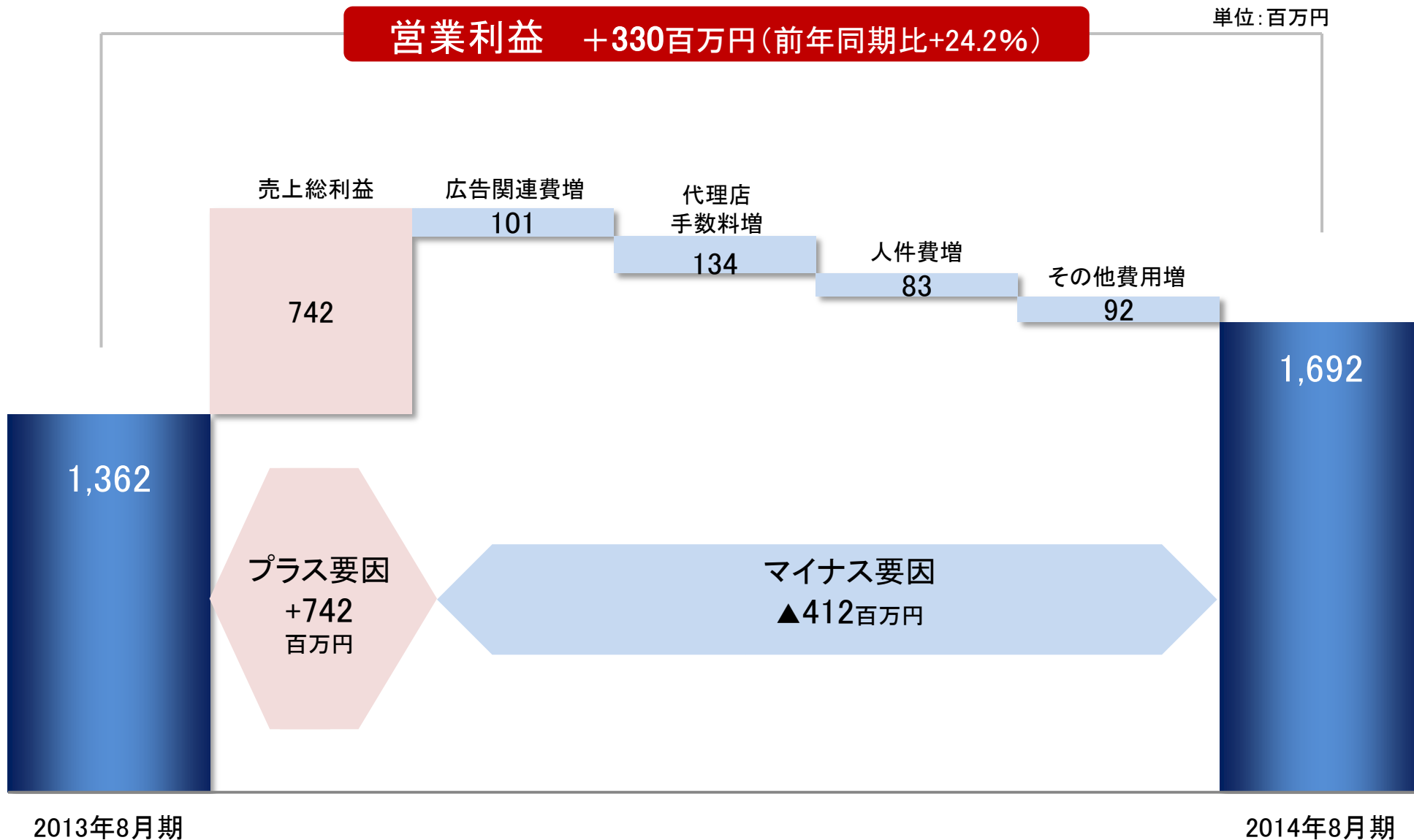
- 売上高、営業利益ともに前年を大幅に上回り、計画を達成
- 高品質な自社制作番組による広告枠の付加価値向上
- 局認知度向上を目的とした効率的な広告宣伝の実施

(単位:百万円、下段は構成比)

	2013年 8月期	2014年8月期					主な増減要因(前年対比)
		実績	前年 同期比	前年 増減額	計画	計画比	
売上高	7,015 (100.0%)	7,869 (100.0%)	+12.2%	+854	7,800 (100.0%)	+0.9%	タイム収入の増加… + 484百万円 スポット収入の増加… + 383百万円
売上総利益	3,308 (47.2%)	4,050 (51.5%)	+22.4%	+742	—	—	番組関連費用の増加… ▲ 231百万円 放送関連費用の減少… + 174百万円
営業利益	1,362 (19.4%)	1,692 (21.5%)	+24.2%	+330	1,550 (19.9%)	+9.2%	代理店手数料の増加… ▲ 134百万円 広告関連費用の増加… ▲ 101百万円
経常利益	1,352 (19.3%)	1,675 (21.3%)	+23.9%	+323	1,500 (19.2%)	+11.7%	賃貸料収入の増加… +69百万円 株式上場費用の増加… ▲ 71百万円
当期純利益	1,322 (18.9%)	1,240 (15.8%)	▲ 6.2%	▲ 82	1,200 (15.4%)	+3.4%	法人税等の増加… ▲ 403百万円 (繰越欠損金に対する繰延税金資産取崩し)

営業利益 +330百万円（前年同期比+24.2%）

単位：百万円



	2013年8月期	2014年8月期			
		実績	前年同期比	計画	計画比
売上高	7,015 (100.0%)	7,869 (100.0%)	+12.2%	7,800 (100.0%)	+0.9%
タイム収入	5,420 (77.3%)	5,905 (75.0%)	+8.9%	5,897 (75.6%)	+0.1%
スポット収入	1,490 (21.2%)	1,874 (23.8%)	+25.8%	1,823 (23.4%)	+2.8%
その他	104 (1.5%)	90 (1.1%)	▲14.0%	80 (1.0%)	+12.9%

主な増減要因

- タイム収入の増加
 - ・BS放送の広告媒体価値向上に伴い、番組提供が増加
 - ・通販番組単価の継続的な上昇とアニメ番組の放送時間枠拡大により収入が増加
- スポット収入
 - ・韓国ドラマの根強い人気に支えられ、間に放送する通販スポット販売が引き続き好調に推移
 - ・BS放送の広告媒体価値向上に伴い、番組提供と同様に純広スポットも順調に増加

(単位:百万円、下段は構成比)

		2013年8月期末	2014年8月期末		
			前年増減額	主な増減要因	
流動資産	流動資産	4,719 (53.1%)	6,556 (49.6%)	+1,837	現金及び預金の増加 +1,898百万円
	固定資産	4,161 (46.9%)	6,651 (50.4%)	+2,489	
資産合計		8,880 (100.0%)	13,208 (100.0%)	+4,327	
流動負債	流動負債	809 (9.1%)	1,043 (7.9%)	+234	
	固定負債	85 (1.0%)	71 (0.5%)	▲13	
負債合計		895 (10.1%)	1,115 (8.4%)	+220	
純資産合計		7,985 (89.9%)	12,093 (91.6%)	+4,107	株式上場時増資に伴う資本増加 +2,866百万円 利益剰余金 +1,240百万円(当期純利益の計上)
負債・純資産合計		8,880 (100.0%)	13,208 (100.0%)	+4,327	

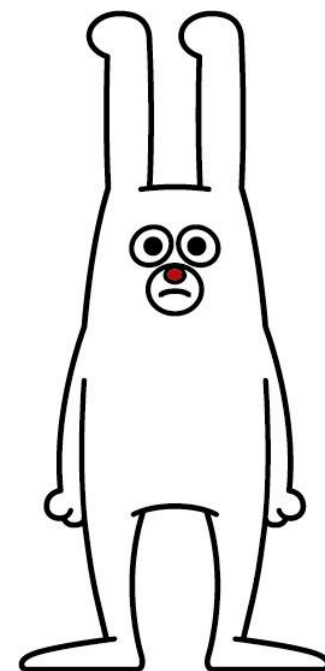
売上高は**8,800**百万円(前期比11.8%増)、営業利益は**1,840**百万円(前期比8.7%増)を計画

当期純利益は**1,100**百万円(2015年8月期に繰越欠損金を解消し税負担が増加)

(単位:百万円、下段は構成比)

	2014年8月期		2015年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期		
			計画	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	3,773 (100.0%)	7,869 (100.0%)	4,300 (100.0%)	+13.9%	8,800 (100.0%)	+11.8%	+930
タイム収入	2,844 (75.4%)	5,905 (75.0%)	3,070 (71.4%)	+7.9%	6,376 (72.5%)	+8.0%	+470
スポット収入	886 (23.5%)	1,874 (23.8%)	1,080 (25.1%)	+21.8%	2,200 (25.0%)	+17.4%	+325
その他	42 (1.1%)	90 (1.1%)	150 (3.5%)	+251.3%	224 (2.5%)	+148.0%	+133
営業利益	875 (23.2%)	1,692 (21.5%)	980 (22.8%)	+12.0%	1,840 (20.9%)	+8.7%	+147
経常利益	914 (24.2%)	1,675 (21.3%)	960 (22.3%)	+4.9%	1,800 (20.5%)	+7.4%	+124
当期純利益	767 (20.3%)	1,240 (15.8%)	670 (15.6%)	▲12.7%	1,100 (12.5%)	▲11.3%	▲140

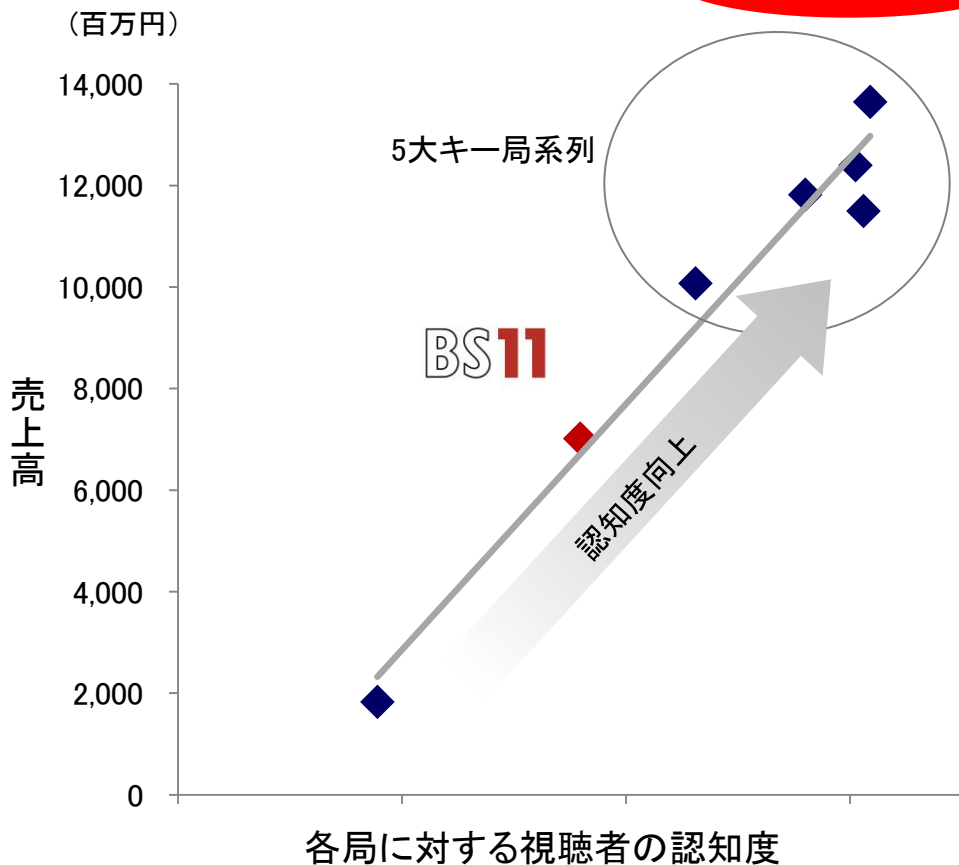
IV 成長戦略



チャンネル認知度向上 ≡ 売上高向上 収益拡大へのキーポイント

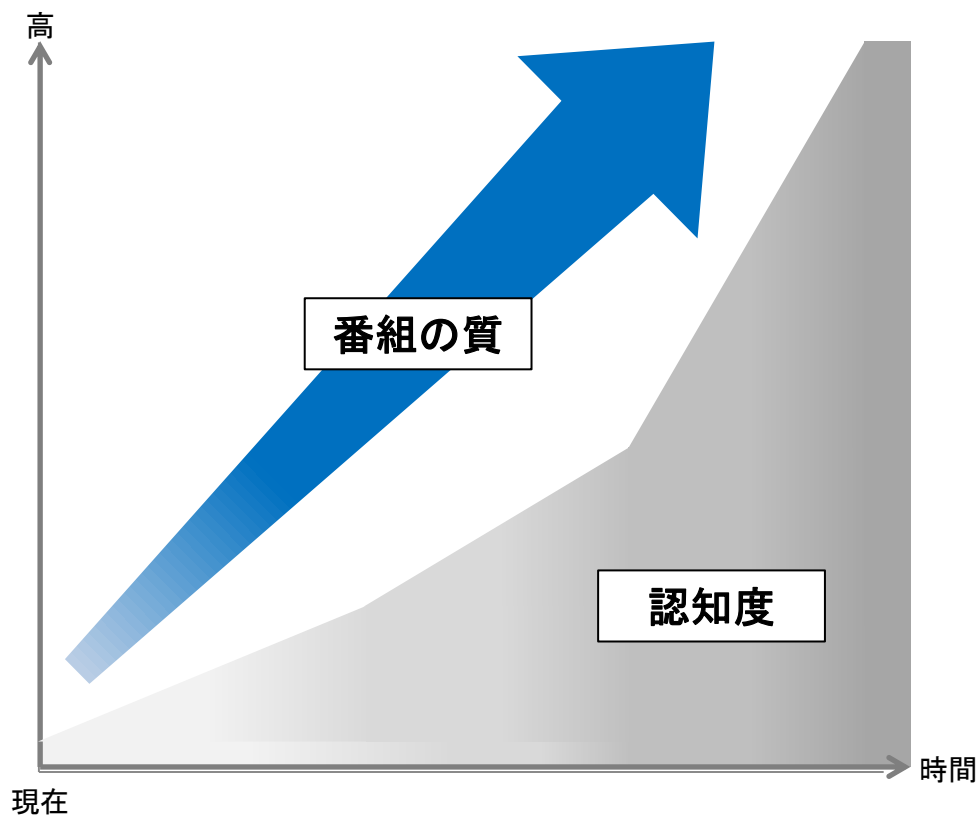
BSデジタル放送各社の売上と認知度

売上高増加には、認知度向上が必要条件



番組の質の向上と認知度

番組の質を向上させることで視聴習慣をつけ、認知度を徐々に高める



(出所)ビデオリサーチ「BSデジタル世帯普及率調査」、各社決算公告

放送番組の充実



2014年4月リニューアル
報道ライブ21 INsideOUT



2014年4月スタート
財部誠一の経済深々



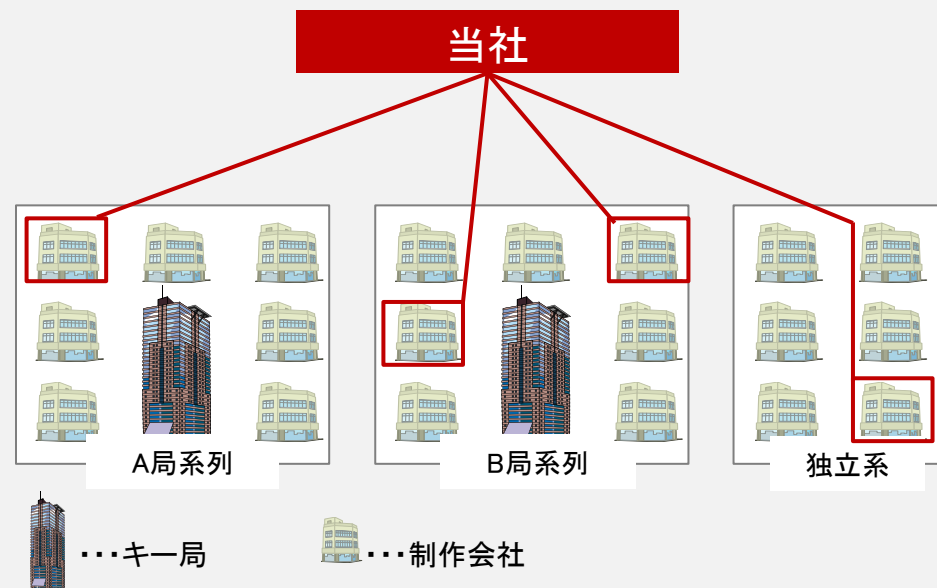
2014年10月スタート
憧景 大人のゴルフ旅2



2014年10月スタート
すてきな写真旅2

ベストパートナーの選択

- ・番組の分野ごとにベストな制作会社を選択可能
- ・特に地方の紀行番組の制作では大きな強みに



売上増加のための番組編成

- ・好評のレギュラー番組の2時間特別番組化やタイムリーなテーマを用いた単発特別番組の制作
- ・ミニ枠(5分番組)を中心としたクライアントへの企画制作番組の提案
- ・BS初登場の韓国ドラマや過去に人気のあった映画・ドラマを多数編成・放送
- ・『ANIME+』の増枠、アニメ作品等への製作委員会出資

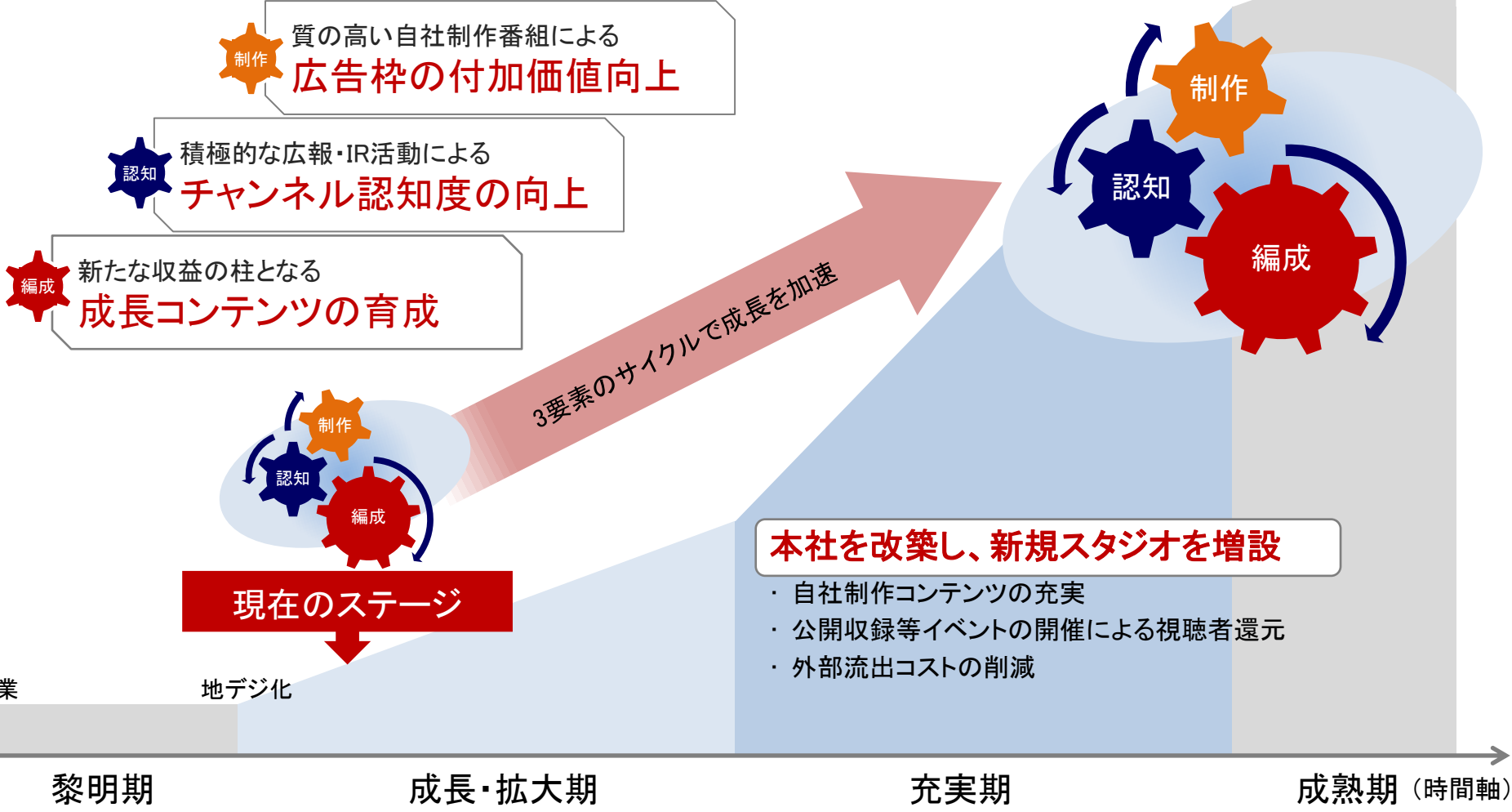
(収益)

成長のキーワード=

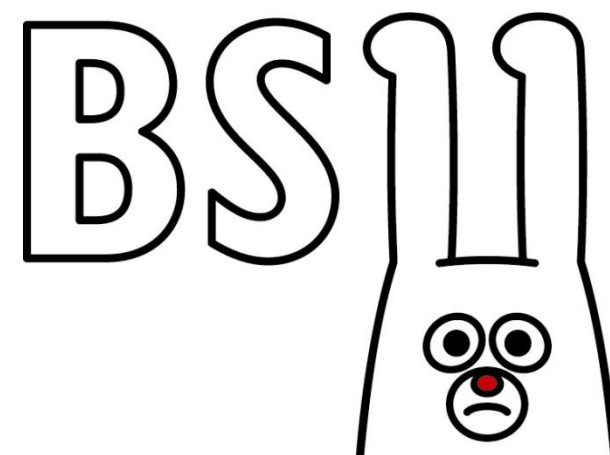
広告単価

×

広告数



V 株主還元

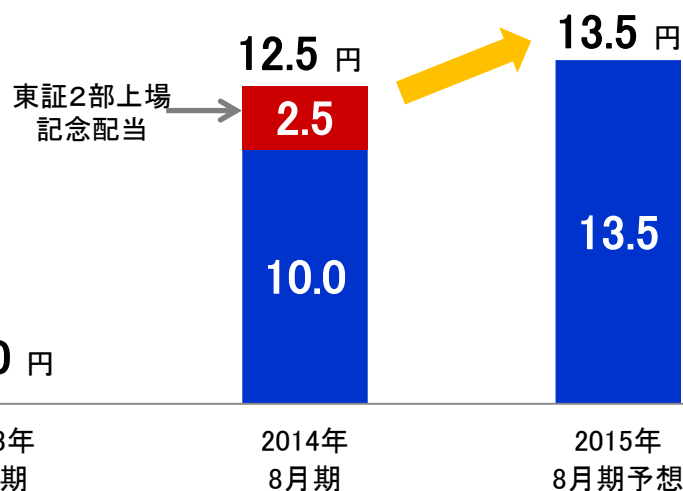


期末配当金を1円増配し、13.5円の配当を計画

配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した利益配当を継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。
- ・ 配当性向については、当面の目標を**30%**とし、業績を反映した利益還元を実施してまいります。

年間配当金



	2013年8月期	2014年8月期	2015年8月期(予想)
年間配当	0 円	12.5 円	13.5 円
普通配当	0 円	10.0 円	13.5 円
記念配当	0 円	2.5 円	0 円
1株当たり当期純利益	91.87円	77.67 円	61.79 円
配当性向	-	16.1 %	21.8 %

(注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出。
 2. 2013年12月16日付株式分割(1対2)、及び2014年8月1日付株式分割(1対2)を遡及計算して記載。

株主優待制度を新設し、年2,000円分の優待を実施

株主優待制度の概要

- ・ 8月末日、2月末日を基準日として年2回の株主優待を実施いたします。
- ・ 国内最大手のショッピング専門チャンネルである「ショップチャンネル」で利用可能な1,000円券をお送りいたします。
- ・ 各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単位(100株)以上保有されている株主様を対象といたします。

基準日	2月末日	8月末日
贈呈時期	5月	11月
ご利用可能期間(有効期間)	6月～11月	12月～5月
贈呈内容	1,000円券1枚	1,000円券1枚
優待券イメージ		

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

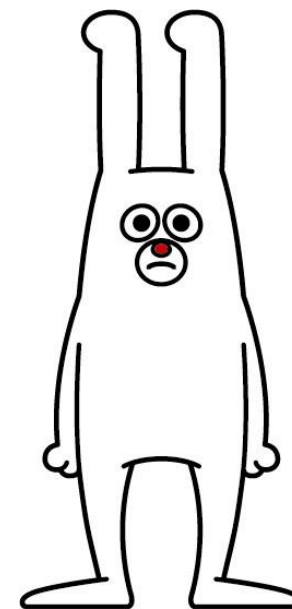
【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営企画局 経営企画部

TEL 03-3518-1900

URL <http://www.bs11.jp/>



BS11